

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2018年12月)

平成31年1月  
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 4日、ゲールT A J (アフリカの希望連合) 党首は、ブーテフリカ大統領の後援を得て、「新たなアルジェリア」のための国民的団結の実現に向けた全国民が参加する会合を呼び掛け、同会合後に大統領選となるとのイニシアチブを発表。
- 7日、ムクリM S P (平和のための社会運動) 党首は、国民和解を実現するために、2019年に予定されている大統領選について1年を超えない範囲での延期を呼び掛けた。
- 27日、ブーテフリカ大統領は閣議を主宰し、2019年予算法(後出3経済の項参照)に署名し、閣議において宇宙活動法や医療等に関する核活動法等が承認された。
- 29日に行われた国民評議会議員半数改選選挙(144名の国民評議会議員中、県議会・市議会議員が間接・秘密投票により自らの中から選出する96名(144名の内、残る48名は大統領による指名)の内の半数を改選するもの)に関し、各政党が発表した結果によれば、国民解放戦線(F L N)が29議席、民主国民連合(R N D)が11議席を獲得した。憲法評議会による結果発表を待つ必要があるが、ブシャーレブF L N執行部調整役は、この結果により、F L Nの歴史上初めてF L Nが国民評議会で55議席を得ることになると賞賛した。

2 外交

- 1日～4日、ガイド・サラ国防副大臣兼国軍参謀総長はU A Eを訪問し、ムハンマド・アブダビ皇太子を表敬。
- 2日～3日、ムハンマド・ビン・サルマン・サウジアラビア皇太子が来訪し、ウーヤヒヤ首相と会談。同首相と同皇太子が共同議長を務め、政治、安全保障、テロ・過激主義対策、経済・商業・投資、エネルギー、鉱業、文化及び教育などの分野を扱う二国間ハイレベル連携委員会の設立が発表された。ブーテフリカ大統領への表敬は同大統領が風邪のため実現せず。
- 4日～6日、ガイド・サラ国軍参謀総長はカタールを訪問し、タミーム首長を表敬。
- 5日～6日、メサヘル外相はジュネーブにてケーラー西サハラ担当国連特使

が主催した西サハラに係るラウンド・テーブルに近隣国オブザーバーとして参加。

● 12日、 그리스国防省次官はローマで開催された第14回5+5ディフェンス・イニシアティブ閣僚級会議に出席し、地域の共通課題について議論するとともに、地域協力をより深化させるため協議した。

● 13日付報道によるとゼルアティ環境・再生可能エネルギー相は、10日から開催された第24回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP24)（於ポーランド(カトヴィツェ)）にて「パリ協定は諸国の利害のバランスの上に成り立ち、その再考は不可能」と述べ、アルジェリアは、持続可能な農業の推進、グリーン・エコノミー等、エネルギー分野の変革のために必要な方策をとっている旨述べた。

● 15日、メサヘル外相はシエラレオネで開催された安保理改革に係るAU10か国委員会閣僚級会合に出席し、エズルウィニ・コンセンサス等に基づくアフリカの共通の立場に従い、国連においてアフリカがふさわしい地位を得るために努力は惜しまないと述べた。

● 16日、李洛淵国務総理が当国を訪問し、17日、ウーヤヒヤ首相及びベンサラ国民評議会議長とそれぞれ会談し、二国間関係強化の方策等につき協議した。

### 3 治安

● 3日付報道によると軍の11月掃討作戦成果は、テロリスト2人殺害、2人逮捕、9人投降。テロリスト家族3世帯12人投降。テログループ支援者26人逮捕。テロリスト隠れ場所47箇所、爆弾製造場所1箇所を破壊。手製爆弾47個破壊。武器弾薬多数押収（カラシニコフ銃15丁、対戦車砲弾41個、銃弾12,086個等）であった。

● 4日付報道によるとアルジェ県憲兵隊11月取締りは、容疑者93人逮捕。内訳は次のとおりであった。①麻薬・薬物取引33人。大麻及び密売アルコール飲料3,664本押収。②傷害をとともなう公道での乱闘、人身襲撃及び住居や車両に侵入しての窃盗39人。刃物多数押収。③海浜の砂の不法採取4人。採取に使われた車両を押収。④不法商行為4人。商業登録せず、インボイス請求書のない600万DA相当の服飾品・靴を運搬中に逮捕。⑤その他逮捕状が発出されていた13人を検問で逮捕。

● 9日付け報道によるとハラガ（自国から逃れるために海路で不法に海外脱出を試みるアルジェリア人）問題が深刻化している。2018年、海上で阻止されたボートによる海路密出不法出国の試みは既に2,400件を上回る。（実際の件数は確認された件数を上回る）。生活難や失業によりのため将来への

希望を失った若者がより良い生活を求めて無謀な船出をし、行方不明者や死者が続出している。アルジェリア人権団体（LADDDH）はこうした状況にさしたる反応を示さない政府を非難し、若者の要望に対応するよう、また縁故贓賈や官僚主義を排し公平の原則を遵守するよう訴えている。

●27日付報道によると国立交通安全センターは1月から11月までの統計を発表。括弧内は昨年同時期比。件数21,568（-8,35%）、死者3,091（-8,33%）、負傷者30,561（-10,46%）。

#### 4 経済

●1日、ソナトラック社とエッソ・イタリアーナ社はミランで、伊のアウグスタの製油所、パレルモ、ナポリ、アウグスタの3つの石油ターミナル及び複数のパイプラインに関する決済を終え、ソナトラック社がこれら全ての施設の所有者となった。

●2日、国家年金基金（CNR）のメルカ局長は、同基金の赤字が2019年に6000億ディナールに達するとの予測を表明。また、同基金の赤字は2104年から2018年の間に1500億ディナールから5800億ディナールに膨らんだことも明らかにした。

●4日、ジェラブ商業相は、アルジェリアのWTO加盟について、加盟が遅れているのは当国の経済戦略に基づく選択によるものであり、官僚主義が原因ではない旨発言。

●10日、メルキュール・ホテルで行われた情報・コミュニケーション技術（ITC）コンクールの開催式典に際し、華為（HUAWEI）とバブ・エズアール科学工科大学（USTHB）及び高等情報工学学校（ESI）との間で包括的協力に係る覚書が署名された。ITC分野における人材発掘のための華為の戦略に基づき、2020年までに30のITCアカデミーが設立され、年間1500名以上の学生が研修を受ける。

●12日、ソネルガス社のアルカブ総裁は国営ラジオの番組で、同社の抱える負債が1兆6500億ディナールに上ると表明した上で、現在の電気及びガス料金についても議論の対象である旨発言。

●12日、日産とハスナウィ・グループによる自動車生産プロジェクトが、12月6日に開催された国家投資評議会（CNI）で承認されたと報道。

●14日、アルジェリア経営者フォーラム（FCE）が、労働・雇用社会保障省から組合（syndicat）として認可されたことが発表された。また、15日、同フォーラムのハダッド会長が、信任投票によって会長職に再選された。

●15日、CILAS社（スアクリ・グループ及びラファージュホルシム社の合併会社）は、アンナバ港から同社にとって初となるクリンカー3万5000

トンの西アフリカ向け輸出オペレーションを実行。

- 16日、農業・地方開発・漁業省のハムーシュ漁業・養殖部長は、2020年には当国のマグロ漁割当てが1650トンにまで引き上げられるとの予測を表明。
- 17日、韓国の李国務院総理のアルジェリア訪問に際し、韓国・アルジェリア間で、環境、税関、投資、コンプライアンス・認証、再生可能エネルギーの分野に関する5つの覚書が署名された。
- 22日、中国大手メーカーBAICの自動車組立て工場がバトナ県で操業を開始し、ユースフィー産業・鉱業相が工場の開所式に出席。
- 23日、ルカル・アルジェリア中央銀行総裁は、2018年11月末時点での当国の外貨準備高が821億2000万ドルであったと公表。2017年末の973億3000万ドルから約152億1000万ドルの減少。中央銀行による国庫への直接融資、いわゆる「非慣例的な」資金調達に関し、客年9月末までに国内総生産の約28%にあたる4兆50億DZDが実施され、同年11月には新たに1兆1872億DZDの登記が行われた旨も発表。既に実施された同融資のうち、1兆4700億DZDは国庫の歳出超過の補填に、2兆2640億DZDが公的債務への補填に充てられた。
- 25日、国家統計局（ONS）が、2018年11月までの12か月間の平均インフレ率を4.5%と発表。
- 25日、関税庁が2018年1月～11月の貿易統計を発表。輸出高が372億3000万ドル（前年同期比+17.86%）、輸入高は同1.84%減の413億7100万ドル（同-1.84%）で、貿易赤字は約41億3000万ドル（同-60.81%）となった。炭化水素が輸出高の93.04パーセントを占めた。主な貿易相手国は以下のとおり：

【輸出】単位：百万ドル（括弧内の数字は前年同期比）

伊	5,457	(+7.2%)
西	4,443	(+21%)
仏	4,183	(+7.8%)
米	3,575	(+17.7%)
英	2,487	(+76.5%)
トルコ	2,037	(+25.5%)
ブラジル	2,028	(+1.35%)
蘭	1,935	(+13%)
印	1,518	(+74%)
中	1,177	(+83.3%)

ベルギー	1, 130	(+30.5%)
韓国	1, 128	(+50.4%)
ポルトガル	1, 034	(+26.4%)
チュニジア	860	(+23%)
モロッコ	664	(+54.4%)

【輸入】 単位：百万ドル（括弧内の数字は前年同期比）

中	7, 042	(-10%)
仏	4, 239	(+8.9%)
伊	3, 309	(-2%)
西	3, 177	(+12%)
独	2, 759	(+1%)
トルコ	2, 075	(+11.2%)
アルゼンチン	1, 757	(+26.3%)
米	1, 501	(-12.6%)
印	1, 178	(+26.9%)
ブラジル	1, 125	(-9.3%)
韓国	994	(-37.1%)
露	847	(-23.5%)
サウジアラビア	632	(+31.1%)
ベルギー	561	(+5.2%)
ポーランド	538	(+31.5%)

●27日、ブーテフリカ大統領は、2019年予算法に承認の署名。30日付官報で公布。歳入が6兆5079億764万8300DZD、歳出は8兆5571億5847万8千DZDを見込む、2年連続で2兆DZD超の赤字予算。なお、同予算の策定にあたって前提とされている主な経済指標の見込みは以下のとおり：

- ・原油価格：50USD／1バレル
- ・経済成長率：2.6%
- ・年平均インフレ率：4.5%
- ・対ドル為替レート：118DZD／1USD
- ・外貨準備高（2019年末）：620億ドル

## 5 日本との関係

●5日、小川大使は、ベンメサワード観光・手工業相を表敬し、観光・手工業分野における日・アルジェリア間の協力等について意見交換を行った。

- 5日，駐アルジェリア日本大使公邸にて平成30年天皇誕生日祝賀レセプションが開催され，メバルキ職業訓練・専門教育相，ミフビ文化相，ゼルーニ元副首相，ベンヘラフ・アルジェリア日本友好議連会長をはじめとする政府，議会関係者，各国外交団，大学，文化，報道，企業等の関係者約300名が出席。
- 26～28日，河野外務大臣が当国を訪問。27日，独立戦士の塔に献花。ウーヤヒヤ首相を表敬し，メサヘル外相と会談及び同外相主催昼食会に出席。また，ユネスコ世界遺産のカスバ地区及びムジャヒディン博物館も訪問。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
11月30日～12月1日	メキシコ	ベンサラ国民評議会議長	ガリ西サハラ「大統領」と会談。ブーテフリカ大統領の代理としてロペス・オブラドール大統領就任式に出席。同墨大統領を表敬。
12月1日	米	テンマール住宅・都市計画相	米国アルジェリア人会との会合に出席
12月1日	米	ゼマリー労働・雇用・社会保障相	同上
12月1日～4日	アラブ首長国連邦	ガイド・サラ副国防相兼国軍参謀総長	アラブ首長国連邦結成47周年記念式典に出席。ムハンマド・アブダビ首長国皇太子を表敬。
12月2日～4日	ポーランド	ゼルアティー環境・再生可能エネルギー相	国連気候変動枠組条約第24回締約国会議（COP24）に出席
12月4日～6日	カタール	ガイド・サラ副国防相兼国軍参謀総長	ハマド国防問題首長参事官と会談。ハリード国防相及びタミーム首長を表敬
12月5日	スイス	メサヘル外相	西サハラ問題に係るラウンド・テーブルに出席。ケーラー国連西サハラ問題特使及びシュワブ世界経済フォーラム会長と会談
12月5日	伊	ラウイア財務相	アフリカ開発銀行総裁諮問

			委員会に出席
12月5日 ～6日	アラブ首長 国連邦	ハジャル高等教育・ 科学研究相	第5回ナレッジ・サミット に出席
12月5日 ～7日	オーストリ ア	ギトウーニ・エネル ギー相	マズルーイ・アラブ首長国 連邦エネルギー相及びマヌ エル・ケベド・ベネズエラ 石油相と会談
12月9日	エジプト	ユースフィー産業・ 鉱業相	アフリカ・フォーラム20 18に出席。イスフ・ニジ ェール大統領, ムーサ・フ ァキ AUC 委員長, ナサール・ エジプト産業・貿易相と会 談
12月10 日	アラブ首長 国連邦	メサヘル外相	ソーシャル・メディア・イ ンフルエンサーズ・サミッ トに出席
12月10 日～11日	モロッコ	ベドゥイ内務・地方 自治・国土整備相	国連移住グローバル・コン パクト採択会合に出席。タ ウフィーク・エジプト内相 と会談
12月11 日～12日	バーレーン	テンマール住宅・都 市計画相	第5回アラブ諸国住宅会議 及び第35回アラブ諸国住 宅・都市計画相会合に出席
12月12 日	サウジアラ ビア	グラマラー・イスラ ム高等評議会議長	ムスリム世界連盟主催のイ スラム会議に出席
12月12 日	モーリタニ ア	ザアラーン公共事 業・運輸相	第9回西地中海諸国運輸相 会合（GTM05+5）に出席
12月12 日～13日	エジプト	ジェラブ商業相	第7回アフリカ諸国商業 （貿易）相会合に出席。
12月14 日～15日	シエラレオ ネ	メサヘル外相	国連安保理改革担当AU1 0か国政府首脳委員会（C- 10）閣僚会合に出席。ビ オ大統領にブーテフリカ大 統領親書を手交。カバ・シ エラレオネ外務・国際協力 相と会談

12月17日	サウジアラビア	カウアーン報道相	アラブ諸国連盟主催の「リヤド、アラブ情報首都2018/2019」会合に出席。アッワード・ビン・サーレフ・サウジアラビア文化情報相及びルディナ・パレスチナ副首相兼情報相と会談
12月17日～18日	オーストリア	フェラウン郵便・情報通信・技術・デジタル相	アフリカ・欧州ハイレベルフォーラムに出席。ボレル西外相、シュラムベック・オーストリア情報化・経済立地相及びリンデ・スウェーデン外務省EU貿易担当相と会談
12月19日	マルタ	ギトウーニ・エネルギー相	アベーラ外務・貿易促進相と第5回アルジェリア・マルタ合同委員会を共催
12月21日	チュニジア	ベンゲブリ国民教育相	中東・北アフリカ地域教育相会合に出席。エセブシ大統領を表敬
12月22～23日	クエート	ギトウーニ・エネルギー相	アラブ石油輸出国機構閣僚評議会に出席

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
12月2日～3日	サウジアラビア	ムハンマド皇太子	ウーヤヒヤ首相と会談
12月4日～5日	中国	甄・国家行政学院副院長	国際ガバナンス能力強化フォーラムに出席
12月3日～4日	仏	ブヴィエ首相府海洋事務局長	ブルー・エコノミーに関する西地中海諸国（5+5）会合に出席
12月6日～7日	英	ウェイド＝スミス国際貿易省アフリカ貿易担当	ズーフ・アルジェ県知事と会談



		委員	
12月8日～9日	バチカン	ベッチウ枢機卿	ウーヤヒヤ首相を表敬
12月9日～10日	アンゴラ	ビエイラ・ロペス協力担当外務政務官	ブアズギー農業・地方開発・漁業相，ネシブ水資源相及びギトゥーニ・エネルギー相を表敬
12月16日～18日	韓国	李国務総理	ベンサラ国民評議会議長と会談。ウーヤヒヤ首相と会談及び第5回アルジェリア・韓国ビジネスフォーラムを共催
12月17日	レバノン	ラフル大統領府担当相	ウーヤヒヤ首相を表敬
12月22日～23日	ヨルダン	サファディ外相	メサヘル外相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
12月24日	チュニジア	エシード大統領特使	ベンサラ国民議会議長を表敬
12月26～28日	日本	河野外務大臣	メサヘル外相と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬。